

『令和七年度上半期加入・支払実績』まとまる！  
**加入金額は前年同期比九%増加、共済金は二億五千万円減少で推移**

【加入実績】

令和七年度上半期の加入実績は、漁業共済・地域共済の共済金額合計で、七百二十六億九千万円となり、前年同期に対して、六十一億八千万円増加しました。

その主な内容は、漁獲共済では、漁船漁業の「一般底びき網」、「さんま棒受網」等で共済限度額が上昇し、各漁種で契約割合の引上げが図られたこと等により、七億八千万円増加しました。また、定置漁業では、「小型定置」で共済限度額が下降しましたが、「一般大型定置」等で共済限度額が上昇したことに加え、「さけ大型定置」で新規加入があったこと等により、六億六千万円増加となり、全体では十四億四千万円増加しました。

特定養殖共済では、「ほたて貝等」で共済限度額が上昇したことに加え、契約割合の引上げが図られたこと等により、四十八億二千万円増加となり、漁獲共済と特定養殖共済の合計では六十二億六千万円増加となりました。

漁業施設共済では、定置網で休廃業があったこと等により、八千万円減少しました。

なお、積立ぶらすは、クロマグロ強度資源管理タイプの特例措置の払戻判定ラインの段階的引下げの影響により、定置漁業を中心に前年同期に比べると三億二千万円減少し、漁業者積立申込金額で七十一億六千万円となりました。

令和7年度 ぎょさい・積立ぶらす 引受実績表（9月末）

金額単位：億円

区 分			本年度実績		前年同期実績		同期対比増減	
			共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
漁業共済	漁 獲	1号漁業	—	—	—	—	—	—
		漁船漁業	151.7	6.5	143.9	6.1	7.8	0.4
		定置漁業	368.5	58.9	361.9	63.9	6.6	△ 5.0
		計	520.2	65.4	505.8	70.0	14.4	△ 4.6
	特定養殖	藻 類	—	—	—	—	—	—
		貝 類 等	152.7	6.2	104.5	4.8	48.2	1.4
		計	152.7	6.2	104.5	4.8	48.2	1.4
	漁業施設	養殖施設	4.2		4.4		△ 0.2	
		定 置 網	45.9		46.5		△ 0.6	
		計	50.1		50.9		△ 0.8	
	合 計		723.0	71.6	661.2	74.8	61.8	△ 3.2
	地 域 共 済 (休漁補償)		3.9		3.9		0.0	
	総 合 計		726.9	71.6	665.1	74.8	61.8	△ 3.2

（注）共済金額は漁業共済、積立金額は積立ぶらすの漁業者積立申込金額である。

# 【支払実績】

本年度の上半期の共済金支払は、漁業共済で十三億四千四百万円の支払となりました。主なものは、漁獲共済では、一号漁業の「こんぶをとる」で三億八千七百万円、漁船漁業の「小型合併」で六億二百万円、「いか釣り」で一億二千四百万円です。

その主な内容を前年同期と比べると、漁獲共済では、一号漁業の「こんぶをとる」で三億二千四百万円増加、漁船漁業の「小型合併」で一億四千八百万円増加、「ほたて貝桁網」「すけとうだら刺し網」等で六億三千五百万円減少、定置漁業で二千六百万円減少となり、全体では前年同期に対して、一億八千九百万円減少し、十二億六千八百万円の支払となりました。

特定養殖共済では、藻類で一千六百万円増加しましたが、貝類等で七千四百万円減少し、七千六百万円の支払、漁業施設共済では、上半期での支払はなく、百万円の減少となり、総合計では二億五千万円減少しました。

また、積立ぶらすの払戻補填金（漁業者十国）は、一号漁業の「こんぶをとる」で六億八千七百万円増加したことにより、合計では十八億五千四百万円となり、前年同期に比べると、二億二千七百万円増加しました。

令和7年度 ぎょさい・積立ぶらす 支払実績表（9月末）

金額単位：億円

区 分 \ 項 目			本年度支払（払戻）		前年同期支払（払戻）		同期対比増減	
			共済金	積立払戻	共済金	積立払戻	共済金	積立払戻
漁業共済	漁 獲	1号漁業	3.87	7.65	0.63	0.78	3.24	6.87
		漁船漁業	8.70	9.49	13.57	11.95	△ 4.87	△ 2.46
		定置漁業	0.11	0.41	0.37	0.84	△ 0.26	△ 0.43
		計	12.68	17.55	14.57	13.57	△ 1.89	3.98
	特定養殖	藻 類	0.37	0.66	0.21	0.81	0.16	△ 0.15
		貝 類 等	0.39	0.33	1.13	1.89	△ 0.74	△ 1.56
		計	0.76	0.99	1.34	2.70	△ 0.58	△ 1.71
	漁業施設	養殖施設	—		0.01		△ 0.01	
		定 置 網	—		—		0.00	
		計	0.00		0.01		△ 0.01	
	合 計		13.44	18.54	15.92	16.27	△ 2.48	2.27
地 域 共 済（休漁補償）			—		0.02		△ 0.02	
総 合 計			13.44	*18.54	15.94	16.27	△ 2.50	2.27

（注）共済金は漁業共済、積立払戻は積立ぶらすの払戻補てん金（漁業者十国）である。

\*新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額0.43億円を含む。

## 『今後の共済金・積立ぶらす支払見込』

**共済金・積立ぶらす合わせて二百七十億円を超える支払を見込む**

本年十二月以降に見込まれる最大支払額は、主要漁業の「天然こんぶ」、「秋さけ定置」、「秋さけ定置漁具」、「ほたて貝等養殖業」における共済金の合計で約七十七億円、積立ぶらすの合計で約百九十九億円となっております。

### 【天然こんぶ】

前年より増産が見込まれるものの、ここ数年は減産傾向が続いている状況です。

本年九月末の販売分に未販売金額を聞取り、試算したところ、函館・日高・釧路地区を中心に漁獲共済で三億円、積立ぶらすで五億円、合計で八億円の支払が見込まれています。

### 【秋さけ定置】

全道的に記録的な来遊不振の漁況であり、根室・北見地区を中心に漁獲共済で七十二億円（前年度三十六億円）、積立ぶらすで百九十二億円（前年度百二十一億円）、合計で二百六十四億円（前年度百五十七億円）の支払が見込まれており、前年度と比べますと、合計で百七億円増加する見込みです。

### 【秋さけ定置漁具】

九月及び十月の低気圧被害により、室蘭・釧路・北見地区で約一億円の支払が見込まれています。

### 【ほたて貝等養殖業】

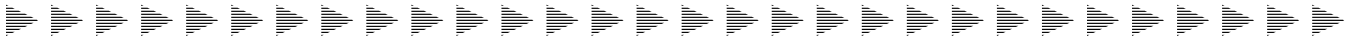
生育不良及びへい死被害等により、一部海域で事故に該当することが見込まれ、特定養殖共済で一億円、積立ぶらすで二億円、合計で三億円の支払が見込まれています。

当組合では、共済金・積立ぶらすの早期支払に向けて、適切かつ迅速な処理に取り組んでおりますので、手続きに必要な書類の手配など関係各位のご協力をお願い申し上げます。

**ぎょさい  
積立ぶらす  
安心経営**

**G 北海道漁業共済組合**





ぎょさい  
積立ぶらす

安心

経営

